

2026.2.19

報道関係者 各位

&lt;配信枚数 2 枚&gt;

## ■開催案内■

## 第 15 回 3.11 追悼企画「いのちのつどい」開催

東日本大震災から 15 年、記憶と教訓を次世代に伝え復興の歩みを振り返る

日時：2026 年 3 月 11 日（水）13 時 00 分～17 時 00 分

場所：立命館朱雀キャンパス 1 階 多目的室 1、2

立命館災害復興支援室（所在地：京都市中京区、室長：宗本晋作）は、第 15 回 3.11 追悼企画「いのちのつどい」を立命館朱雀キャンパスにて開催いたします。

立命館は、東日本大震災発生直後の 2011 年 4 月に大規模・広域・複合型災害の支援窓口として立命館災害復興支援室を設置し、これまでにのべ約 3000 人の学生・生徒・児童・教職員がボランティアや、企業・自治体と連携した復興支援プロジェクト、フィールドワークを経験し、学んでまいりました。

本企画「いのちのつどい」は、震災をはじめとするさまざまな災害で犠牲となった方々を追悼しその教訓を未来へ伝える場として、立命館災害復興支援室が毎年開催しております。



書：立命館大学書道部

開催 15 回目となる今回は、「いのちをつなぐ-震災・紛争、そして未来へ-」をテーマとした対談企画、震災に関わるボランティアを行う学生からの活動報告、15 年におよぶ災害復興支援を振り返るパネル展示を行います。過去の記憶を伝え、現在の歩みを共有し、未来への希望をともに描きながら歩んでいくことを目指します。

## 記

日 時：2026 年 3 月 11 日（水）13 時 00 分～17 時 00 分

場 所：立命館朱雀キャンパス 1 階 多目的室 1、2

対 象：どなたでも参加できます

参 加 費：無料

参加申込：①お名前、②年齢、③参加人数、④連絡先を明記のうえ、  
「311fukko@st.ritsumeikan.ac.jp」宛にメールでお申し込みください。

申込締切：2026 年 2 月 27 日（金）17 時 00 分

主 催：立命館災害復興支援室

※詳細は別紙をご覧ください。

※当日のご取材については、以下までご連絡ください。

以上

本リリースの配布先：京都大学記者クラブ

## ●取材・内容についてのお問い合わせ先

学校法人立命館広報課 担当：中嶋 TEL. 075-813-8300

## 別紙

### <プログラム> (敬称略)

司会: 早川 岳人 (立命館大学衣笠総合研究機構 教授/災害復興支援室 副室長)

13 時 00 分 開会の挨拶 仲谷善雄 (学校法人立命館総長)

13 時 05 分 対談企画「いのちをつなぐ -震災・紛争、そして未来へ-」

登壇者:

古波津陽 (映画監督/対話プログラムの設計/福島県ホープツーリズムアンバサダー)

木村紀夫 (福島県大熊町で被災後、語り部として活動) \*オンライン参加

丹波史紀 (立命館大学産業社会学部 教授/災害復興支援室 副室長)

14 時 46 分 黙祷

15 時 00 分 「チャレンジ、ふくしま塾。」塾生および福島・能登活動支援学生による活動報告

15 時 55 分 閉会の挨拶 宗本晋作 (立命館大学理工学部 教授/災害復興支援室 室長)

16 時 00 分 パネル展示・懇親の場

17 時 00 分 終了

### ■対談企画について

東日本大震災で未曾有の災害を経験した被災地には、15 年経ったいまなお家族の行方がわからない方がいます。そのような現実と向き合い語り部として現地で活動されている木村紀夫氏と、長年被災地ふくしまを見続けフィルムに記録を残す映画監督・古波津陽氏、立命館災害復興支援室副室長の丹波史紀教授が登壇。東日本大震災から 15 年、何を語り継ぎ、未来へどうつなげていくのか共に考えます。

### ■学生活動報告について

#### ①チャレンジ、ふくしま塾。

「チャレンジ、ふくしま塾。」は、福島のこれまでとこれからに関心を寄せる学生たちと、福島や震災からの復興に関わる教員や専門家と学び発信活動に取り組むプログラムとして、福島県庁と立命館が連携して 2017 年度にスタートした課外プログラムです。

#### ②福島・能登活動支援学生

立命館災害復興支援室では、災害被災地での復興支援や地域活性化活動に参加する学生・院生に対して、寄付を財源に、活動先に移動する際の旅費の補助を行っています。この補助制度を利用して、福島・能登でのボランティア活動へ参加しました。

### ■パネル展示について

立命館災害復興支援室として携わった 15 年の復興支援の歩みを振り返るパネル展示を行います。

### ■立命館災害復興支援室について

立命館災害復興支援室は 2011 年の東日本大震災を契機に設置しました。東日本大震災をはじめ、全国各地で起こっている地震や自然災害の被災地復興を支援しており、これまで 3,000 名を超える学生をボランティアとして被災地に派遣してきています。福島県とは 2013 年に、岩手県大船渡市とは 2012 年に復興に関わる協定を締結しており、これまで継続した活動を行っています。

立命館災害復興支援室 HP <https://www.ritsumeai.ac.jp/fukkor/>